

営業組織のハンズオン型改革支援プロジェクト

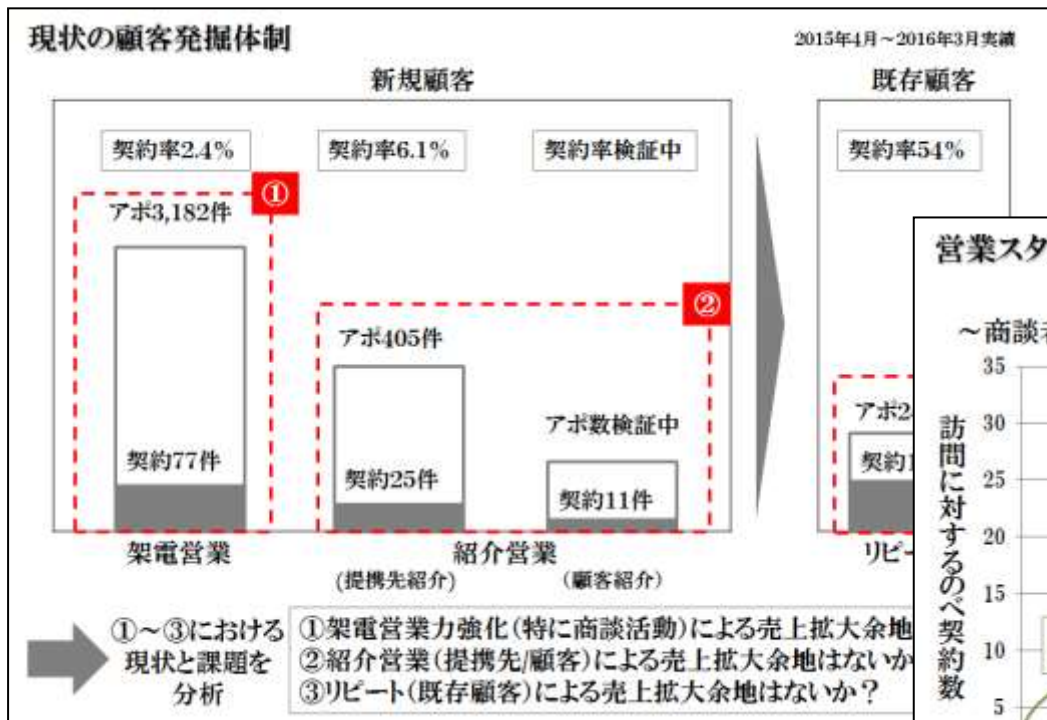
プロジェクト成果物の例

- 本資料は当社のコンサルティング支援のイメージをお伝えするための参考資料です。
- 内容は当社の実績をもとに作成しておりますが、あくまで一例であり、実際はお客様の与件によりまして成果物は異なります。
- お客様の成果につながる最適なアプローチで支援いたします。

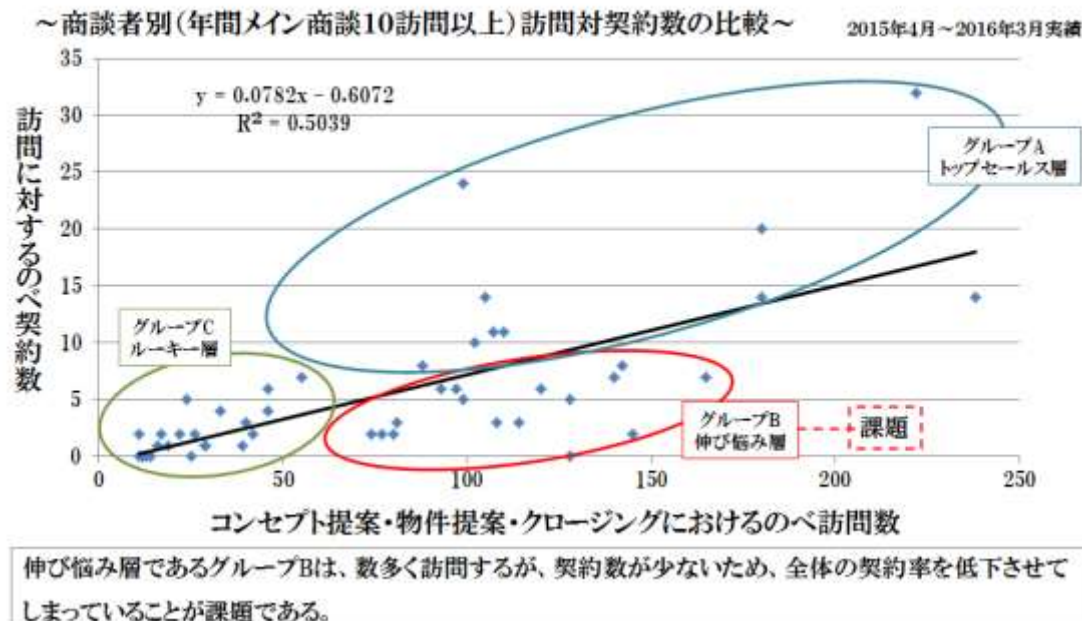
STEP1:営業の勝ちパターン設計

● 活動実態の評価

- ✓ 各種営業プロセス分析（発掘ルート/営業スタッフ別等）により、営業生産性の現状を把握
- ✓ 売上拡大に向け、強化すべきルートや営業スタッフグループを明確化



営業スタッフ別生産性分析



STEP1:営業の勝ちパターン設計

● トップセールスのベストプラクティス抽出

- ✓ 営業同行、インタビューを通じて各営業スタッフグループにおける現状レベルを明確化
- ✓ 各セールスステップにおいて、ベストプラクティスとなる行動基準を明確化

～ベストプラクティスの抽出イメージ～

セールス ステップ	新人セールス	一般セールス	トップセールス
STEP1	・自己開示をしていない為、お客様の情報が引き出せない ・お客様の関心を引き出す姿勢がない	・お客様の関心ごとに触れ、簡単なリアクションを取ることは出来ている ・会話の深掘りはないため、お客様と深い関係性を築くことが出来ない	・お客様の経営実績等について触れ、賞賛している ・〇〇購入を検討する社長の悩みあるあるを説明し頷き頂ける
STEP2	・お客様が話す言葉一つ一つに対して応酬し、持論で指導のような説明を一方的にしているため、心頼を得ることが出来ていない	・お客様情報をもとに、情報提供を実施 ・半数程度のお客様からは、信頼を頂くことが出来ている	・具体的な数字、事例など説得力の話をすることで心頼を得ている ・顧客タイプに応じて、適切なネタを展開出来るため、幅広いお客様の心をつかむことが出来る
STEP3	・好感形成、心頼形成ができていないために、問題点共有のステップまで会話を進めることができない	・ヒアリングが少ない為、企業における問題、経営者の関心事項等が明確になっていない	・お客様の業界に関する課題や具体的なお客様の事例等を話しながらスムーズにヒアリングをすることが出来ている
STEP4	・～～～	・～～～	・～～～

STEP1:営業の勝ちパターン設計

● 営業の勝ちパターン構築：検討方法

- ✓ 自社トップセールスを中心に、ワークショップ形式で営業の勝ちパターンを設計
- ✓ 自社の勝ちパターンをセールスステップやセールストークに落とし込む

実施形態

ミーティング形式 数回
合宿形式 1泊2日にて1回

参加者

- ・トップセールス 5~6名
- ・若手/中堅セールス 2~3名
- ・PJメンバーの皆様



徹底した議論

理想のセールス
ステップ

キラー
セールストーク

理想のマネジ
メント手法



トップセールスの
勝ちパターンを
体系化

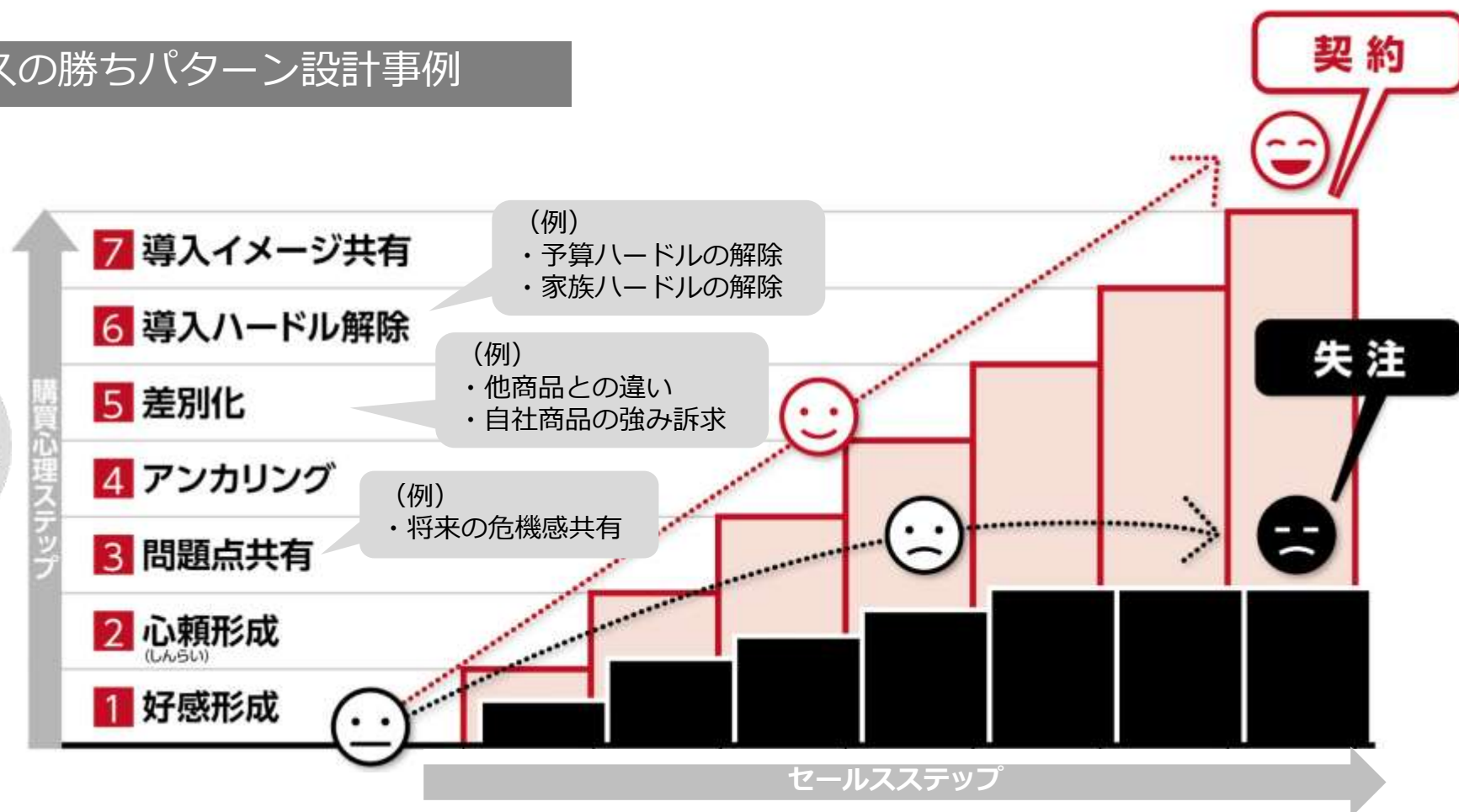
STEP	1. 目的意識				2. 目的意識
活動	① 目的意識の共有	② 目的意識の共有	③ 目的意識の共有	④ 目的意識の共有	目的意識
ゴール	● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有	● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有	● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有	● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有	● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有 ● 目的意識の共有
プロセス	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有
ツール	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有	① 目的意識の共有 ② 目的意識の共有 ③ 目的意識の共有 ④ 目的意識の共有

STEP1:営業の勝ちパターン設計

● 営業の勝ちパターン構築：検討テーマ例①各種商品提案営業

- ✓ トップセールスの行動に基づき、営業における理想となる営業シナリオを設計
- ✓ 単にセールスステップの整理のみでなく、顧客の購買心理をいかに高めるかに焦点を当てて、トップセールスの手法を体系化することが必要

セールスの勝ちパターン設計事例



● 顧客購買心理に沿ったセールスシナリオ設計（事例）

1 好感形成

お客様の警戒心が解かれ、双方向での自然な会話をすることに了承を頂けている状態を指します。
どんな営業活動においても、まずは良好な人間関係を築き、好感をもってもらえなければ話がはじまりません。まずは話を聞いて頂ける関係性をつくるのが第一ステップです。

2 心頼形成 (しんらい)

「販売のプロフェッショナル」としてのポジションを確保し、心から信頼して頂けている状態を指します。
単なる「良い人」で終わるのではなく、「商品・サービスを知り尽くしたプロ」へと認識を高めていただき、「この人に相談したい」と感じて頂くことが不可欠です。
心頼を獲得できなければ、ヒアリングを行ってもお客様は本音で語ってくれません。

3 問題点共有

現状に関する悩みや不満について確認し、共有できている状態を指します。
このステップまで来てようやくお客様は営業マンに悩みや要望を話してくれます。
夢や希望を伺うことはもちろん大事ですが、初期段階においては要望が明確になっていないことも多いため、「ヒアリング」という形で整理し、問題点を一緒に解決していく姿勢を感じて頂く必要があります。

4 アンカリング

お客様に商品・サービスを選ぶ際の「選択基準」を持って頂けている状態を指します。
お客様にとっては「どんな基準で商品・サービス選びをしたら良いのか」が不明確です。
お客様が得たい状態に近づくための「選択基準」を提示する必要があります。

5 差別化

アンカリングによってお客様に認識して頂いた「選択基準」に集約して、自社・商品の特徴（機能性能・デザイン・コンセプトなど）を説明することです。
「差別」とは、「ある基準に則して、差をつけて区別すること」（大辞林）とあります。
アンカリング→差別化の手順を踏むことで、自社の強みがより効果的にアピールできます。

6 導入ハードル解除

資金、時期の調整など導入を進める上でのハードルを確認し、共有できている状態を指します。
契約までには数多くのハードルがあるため、最終的に「買うことを延期する」というお客様も少なくありません。
資金、時期を確認し、解除していくことで、お客様自身は購入に向けたプロセスを整理する事ができ、営業マンは後々のハードルを予測することができます。

7 導入イメージ共有

商品やサービスを導入したら「どのように現状が改善されるか」というイメージを共有できた状態です。
お客様の消費に対する価値観は「モノからコト」へと変化してきています。
差別化されたポイントが「自身に具体的にどのようなメリットにつながるのか」をお伝えすることで、その商品を手に入れたいと感じてもらうことができ、意志決定が促進されます。

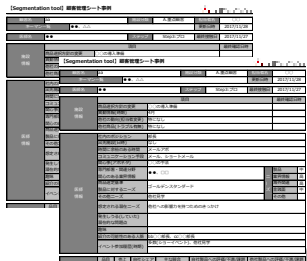
- 構築した勝ちパターンに基づくシステム設計
 - ✓ 構築した勝ちパターンに基づき、活動KPIや営業フロー等を整備

ベストプラクティス抽出

■優秀セールスの特定



- ### ■ベストプラクティス抽出
- 獲得した顧客情報分析
 - 接触時の営業内容分析



活動KPIと推奨行動設計



■活動におけるKPI指標

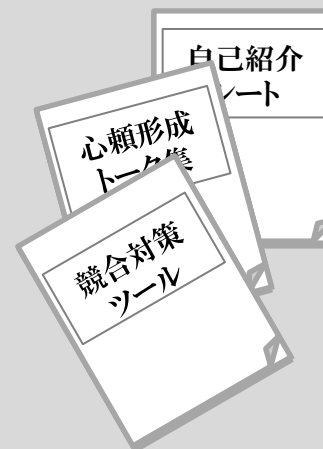
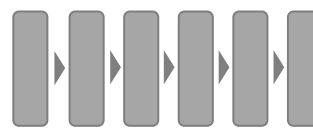
- ☑ ~~~~~
- ☑ ~~~~~
- ☑ ~~~~~

■KPI向上のための推奨行動

- ☑ ~~~~~
- ☑ ~~~~~
- ☑ ~~~~~

営業フロー・ツール構築

顧客への営業フロー



システム設計

- ### ■システム診断・設計
- システム機能診断
 - システム活用実態調査
 - 新システムの全体設計

■システム構築



STEP2:パイロットチームによるテスト運用

- 活動P D C A体制の構築

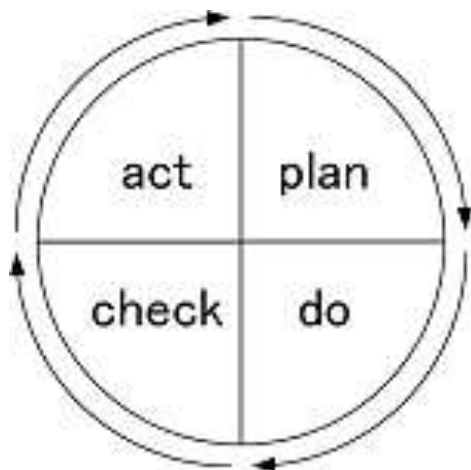
- ✓ パイロット活動における勝ちパターンを検証するため、P D C Aを回していく

ミーティングを通じて進捗確認を行いながら、
勝ちパターンのパイロット展開を実施



「仮説→検証」のP D C Aを回す

定例ミーティング／進捗確認



成功・失敗事例共有ミーティング

PLAN	目標を設定して、それを実現するためのシナリオを設計する。
DO	計画を実施する。(実行に向けた動機付けを行う)
CHECK	結果を測定し、結果と目標を比較するなど分析を行う。
ACT	目標を達成する為に必要な改善・対策を実施する。

STEP2:パイロットチームによるテスト運用

● 成功パターンの抽出

- ✓ パイロット活動の中から再現性のある成功事例を抽出し、勝ちパターン化する

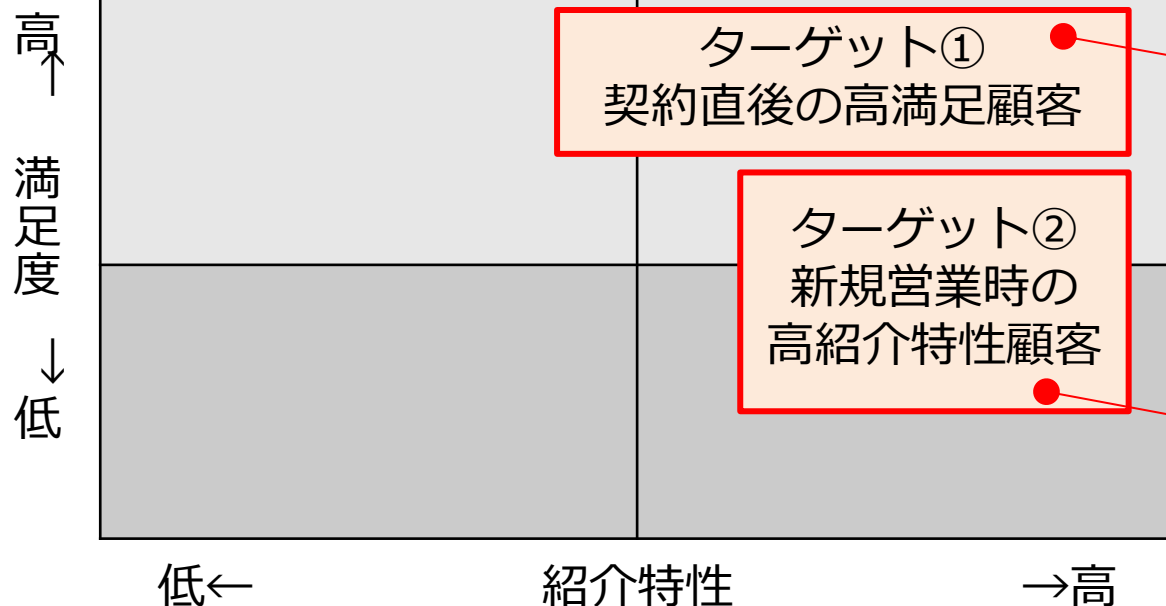
～紹介営業における勝ちパターン抽出事例～

満足度の見極め基準

- ☐ XX以内に購入されたお客様
- ☐ XX目的で購入されたお客様
- ☐ XXがX%以上UPしたお客様

紹介特性の見極め基準

- ☐ CSアンケートにおける紹介意向



紹介元	新規顧客
紹介先	知り合い、地元の有力企業（つながりは強い方）
紹介の経緯	・新規で訪問した先に対して、商談終了後、紹介依頼を実施。 ・一つは、「相続税対策ニーズのある方」「投資ニーズのある方」 ・「本業の下支えニーズのある方」が知り合いにいないかを特定していき、その知り合いの方を紹介頂くパターン。 ・もう一つは、地元の有力企業を名指して特定依頼し、つながりがないかを確認。つながりがあまりない場合は、紹介元の名前を出して良いか確認をして、了承を頂けたら、紹介を頂いたという名目で電話を入れる。
成功ポイント	①紹介を頂くまで何度も依頼する →一度軽く紹介依頼をしただけではなかなか協力頂けないので、大層名分を伝えたりしながら、何度も依頼をする ②紹介頂きたい企業を特定して依頼 →〇〇な方を紹介頂きたいという依頼に加え、有力企業の名前を挙げたりする等で企業を特定した依頼を実施。

紹介元	既存顧客（地主）
紹介先	親族の方（同じ地主つながり）
紹介の経緯	・紹介依頼を実施したところ、少し不安があった様子で、積極的な協力は頂けなかった。それに対し、不安心理を確認し、解消すること。前向きに協力を頂くことが出来た。 ・相続税対策について魅力を感じて頂いているお客様なので、同じ地主の方に、〇〇商品による相続税対策を伝えて頂き、その中から親族の方を紹介頂く。 ・地主は持っている土地にアパート、マンションを建てるケースが多いが、別の選択肢があることを口コミ頂ける可能性は高い。
成功ポイント	①紹介不安心理の解消 →〇〇に対する3大不安心理（投資していることを知られたくない、2億円投資出来る人はいない、ハードクローゼットが不安）を解消する ②明確な口コミ要素を定めた活動指定 →地主仲間にとっての価値を明確に定めて口コミ頂く

● 営業パターンの選定

- ✓ パイロットチームの活動成果に基づき、全社展開する営業パターンの可否を選定
- ✓ 選定した手法を、勝ちパターンとして標準化していく

～パイロットチーム成果による成功可否判定事例～

パイロットチーム	パイロットチームによる成果	全国展開の可否	展開内容
PT① 顧客紹介	既存顧客○名から、紹介アポ数○件 ・ 既存顧客○名から紹介協力者○名 ・ 発掘協力者○名から紹介アポ○件獲得	◎	満足度が高く協力頂きやすい契約直後～3年以内顧客をターゲットとした紹介活動を促進
PT② 提携先紹介	若手スタッフの平均アポ率が向上 ・ 取り組み前：平均○件/月のアポ数 ・ 取り組み後：平均○件/月のアポ数	◎	M D課若手スタッフ強化により、全国の銀行支店の開拓を促進
PT③ 営業力強化	D M送付総数約○件に対し反響○件 ・ XX向け郵送D M：反響○件 ・ XX向けセミナーD M：反響○件 ・ XX向け手紙D M：反響○件 ・ XX向け手紙D M：反響○件 ・ XX向け手紙D M：反響○件	×	有効なインバウンド反響を得ることが出来ていないため、展開は現時点ではN G

セールス、CRMに関する書籍を多数出版



【本件資料・当社サービスについてのお問合せ先】

メールにてお願いします。 info@libcon.co.jp

お名前、所属企業名、ご連絡先などを添えて、
お気軽にお問合せくださいませ。